

3月 18日 (月)

イエス様を選ぶこと

聖書朗読 マルコ 1:21~28

それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、
ピリピ 2:9~10

人生には決断するべきことがたくさんあります。その中で最も重要な決断とは、イエス様との関係についてであり、イエス様が自分にとってどのような方であるかを決めるこではないでしょうか。例えば、イエス様が優れた教師であったことは信じますが、それ以上の思いのない人たちはたくさんいます。また、イエス様を救い主と呼びますが、自分がその証人として生きることを拒む人たちもいます。そして、聖書に語られている通りに、イエス様こそが神様の唯一の御子であると信じる決断をする人たちがいます。その人たちは権威あるキリストと共に、確信と忠誠心をもって公然と立ち上ります。この賢明な信仰の選択は、あらゆる状況で、特に厳しい困難の中にあって、人生の明るい兆しとなることでしょう。

多くの人たちが賛同すると思いますが、自己の不道徳さや反抗的な態度を取り除くのは大変なことです。ですから罪深い私たちが、最も確かな力を持っておられるイエス様に対し、意図的に自分を明け渡そうと決心するのは、賢い選択であり必要なことなのです。神様を受け入れることについて学ぶと、次のような結論にたどりつくことができます。それは、イエス様こそが救い主、癒し主であり、私たちを徐々に神様に似た者に変えてくださるお方だということです。そして私たちの変化は自分には何もないと絶望している人に対して、優しさに満ちた永遠の希望を与えることができます。

どんな時でも、自分を変えて下さるイエス様を選ぶことができますように。

聖 歌 287

祈 り 天の父なる神様。この世を生きて行くのは大変です！人生の旅の途中であなたの御子がキリストであることを忘れることがありませんように。そして日ごとにイエス様に少しでも近づけますように。

イエス様の尊い御名によって。アーメン。

キャシー・R・メレディス
テキサス州 フォートワース

今日の力

2013年3月18日～3月24日

お詫び 今回は編集者のミスで新しい翻訳がお届け出来ませんでした。そのため過去のものから編集しました。

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

3月19日(火)

完全な理解

聖書朗読 ルカ 19:1~10

わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。
ヨハネ 10:14

子どもたちは、母親に向かってこんなふうに言うことがあるでしょう。「お母さんには、私の気持ちなんて分からない」。確かにそうかもしれません。私たち大人は、子どもとは同じ気持ちを持ち合わせていないでしょうし、彼らの世界は大人の世界とは異なるでしょうから。けれども、誰もが共通して持ち合っているのは、自分を理解して欲しいと願う心ではないでしょうか。

イエス様はどんなときでも、私たちがどう感じているかを完全に理解してくださっていると知つたら、どんなに心が落ち着くことでしょう。イエス様は私たちの思いを知っておられ、私たちの日々の決断をご存知です。

主が地上におられた時、問題を抱えた多くの人々に会われました。主は、その一人ひとりの思いを常に知っておられ、彼らの心の葛藤の核心をご存知でした。主の与えてくださる解決方法は、愛と誠であり、簡潔なものでした。

私たちが途方に暮れ、真に理解してくれる人など誰もいないと思うとき、天の御父は、ご聖霊を通して私たちの心の奥深くにある思いを探られ、完璧な正確さをもって、私たちが進むべき道と、私たちの苦悩とをご存知なのです。そのようなとき、知恵とご聖霊の導きを求めるか否かは、実は、私たち自身にかかっているのです。このことは、クリスチャンとして私たちが与えられた、この地上での最も素晴らしい恵みの一つなのです。

讃美歌 第二編41

祈り 親愛なる父よ。平安と勇気を与え、私の意志とは異なっても、あなた様のご意志に従うことが出来るようにしてください。自分の必要を見極める知恵をあなた様に求めます。あなた様の力と愛と、喜んでお導きくださることを感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

カレン・ガウワー
テネシー州 キングストン

3月20日(水)

時と場所

聖書朗読 IIコリント 6:1~2

天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。
伝道者の書 3:1

最近、私は古い写真を整理しました。一枚一枚写真を見ているうちに、家族、友達、休日、旅行の思い出が溢れてきました。

その中に、2008年に里帰りしたときのものがありました。それは結婚40周年記念の年でした。結婚式を挙げた古い教会に車で訪問しました。長い年月が過ぎましたが、そこには私が決して忘ることのない神様の御手がありました。

人生はアルバムみたいなものです。あつと言う間に、ときにはゆっくりと流れる時は、カレンダー上では時間、日、週、月で計られます。神様は、私たちの人生において特別な時間と場所はもちろん、私たち存在そのものの計画を練り上げてくださっておられます。

私たちはこの先将来に何が待っているのか、どんな写真が私たちのアルバムに追加されるのかわかりません。でも、神様はいつでも知っておられ、神様は私たちがこの特別な瞬間を楽しむことを望んでおられます。

じっくり眺め、その思い出に浸る写真もあるでしょう。神様は私たちに人生をお与えくださいり、今も、これからも常に私たちを見守ってくださっています。私たちの人生は神様の御手の中にあります！ これ以上に最高の場所ってありますか？

讃美歌 488

祈り 親愛なるお父様。あなたが与えてくださる人生、このときに感謝いたします。決して終わりの来ない場所を私たちに用意してくださっているのを知っています。

イエス様の御名によって。アーメン。

ケーシャ・ワインザー
カリフォルニア州 サンディエゴ

3月 21 日 (木)

平安のうちにある教会は素敵です

聖書朗読 詩篇 133編

主がそこにとこしえのいのちの祝福を命じられたからである。

詩篇 133:3

ダビデは聖霊に導かれてこう書きました。『兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんというしあわせ、なんという楽しさであろう。』と。神様がそのような共同体をお喜びになるだけではなく、その共同体に属する人たちもまた平安な環境にあることに安らぎを見出します。愛する家族となっている教会は、人々に自分もその仲間に入りたいと思わせるものです。

今日の聖句において、神様はダビデにこのように書くにあたり、2つの理由を与えるように導かれました。祭司となる人々を導くようアロンに命じるために、モーセはアモンに油を注ぎました。アロンとその子らの任務は、イスラエルの民が一つの家族になるように導くことでした。

シオンの山々に新鮮な水をもたらすヘルモンの山の露についての記述は、水は生命と成長を可能にするということを言い表しています。植えられた種はやがて育ち、人々が生きて成長するように彼らを養います。そのように、共同体は、神様を信じる者たちが、自らの手本を示すことで、人々のうちに靈的ないのちが湧き上がるよう、みことばをあらわすような生活をしなくてはなりません。

アロンの時代から3000年後、神様を信じる私たちは、変わらず共同体の価値を模範とし、教えるべきでることを覚えます。

兄弟たちの中にあって平安のために働いている人たちに、神様が約束してくださっている祝福を覚えましょう。それは、とこしえのいのちという祝福です。

讃美歌 403

祈り 親愛なる主よ。家族や教会の中でみんなが一つになるために働き、決して争いや分裂に加担することはありませんように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

カール・ミッケル
アーカンソー州 サーシー

3月 22 日 (金)

赦しの時

聖書朗読 コロサイ 3:12~14

「どくろ」と呼ばれている所に来ると、そこで彼らは、イエスと犯罪人を十字架につけた。犯罪人のひとりは右に、ひとりは左に。そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。

ルカ 23:33~34

米メジャーリーグのシカゴ・カブスのファンは、1908年のワールドシリーズ制覇以来優勝していないかったチームのファンです。2003年10月14日にフロリダ・マーリンズとのリーグチャンピオンシップで敗北し、ワールドシリーズへの進出はかないませんでした。多くの人々はある少年野球ファンが、本来ならばカブスの外野手のモイゼス・アルーがキャッチするはずだったファウルボールを捕球妨害し、勝利を逃す要因を作ったことを責めました。その後、アルーは格言を引用して「もう少年を赦すべき時だ。そして上に進もう」と発言しました。

私達は皆、間違いを犯すものです。野球場での事件は、無邪気な災難でした。私たちは他人から責められる可能性を持って生きています、だから私たちは落ち着きと分別を忘れないようにしないといけません。ある人が間違いを犯したとして、私たちはどのように反応するかの選択肢があるのです。私たちは神様が私たちを赦したように他人を赦したいものです。赦しについてのイエス様の模範は、私たちが学び、自らに当てはめるべきものです。今日の聖書朗読のイエス様の言葉をできるだけ繰り返して読みましょう。いつも赦すべき時なのです。

讃美歌 第二篇 58

祈り 主よ。あなたの助けと配慮と御守りを願い祈ります。あなたの聖霊が常に私たちとともににあるようにしてください。私たちを正しき道に導き、あなたに仕えるように模倣させてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジョージ・F・ドーアティ
テキサス州 タイラー

3月 23日 (土)

喜 ば し い 出 来 事

聖書朗読 ヨハネ 12:12~19

喜び叫べ。見よ。あなたの王があなたのところに来られる。この方は正しい方で、救いを賜り、柔軟で、ろばに乗られる。

ゼカリヤ 9:9

私の人生において最も喜ばしいことの一つは、わくわくするような出来事を経験するように人生が計画されていることです。主が私のために計画してくださった催しに参加するために、予算を立てたり、参加費を払ったり、責任が付随したりということはありません。

パリサイ人たちはイエス様を逮捕しようとしていましたが（ヨハネ 11:57），イエス様は隠れたりこそそしたりはせず、正門から堂々とエルサレムに入られました。イエス様のエルサレム入りは、記憶されるべき重要な出来事であり、群衆はシロの枝をふりながら興奮してイエス様を迎えました。聖書上重要な指導者に、シロの木の枝をふって敬意をあらわすことは、当時の習慣でした。興奮した群衆は、「ホサナ、ホサナ！」と叫びました。これは「ハレー（万歳）！」よりも意味があります。ホサナは神様を賛美する叫びで、「さあ救いを与えたまえ」という意味だからです。

イエス様は、過ぎ越しの祭りの間にエルサレムに入りました。過ぎ越しの祭りは、神様がエジプトからイスラエルの民を救われた出来事にもとづいています。この日のこの時、イエス様は人々によって歓迎され祝福されました。しかし、このイエス様の入場から数時間後、歓迎の空気は一変し、エルサレムの町は邪悪な空気に包まれることになります。

今日、キリストの勝利のエルサレム入りは、罪の束縛から私たちを解き放ってくれたことを象徴しています。私たちの主は、私たちを愛されているのです。

イエス様、イエス様、イエス様

私が知る最も甘い名前

私の切望をすべて満たし

私にその名を歌わせ続ける

——ルーサー・R・ブリッドガー

聖 歌 282

祈 り 親愛なる主よ。あなたの愛と、測りしれないほど贈り物、あなたの御子を私たちにくださったことに感謝します。私たちがあなたの払った犠牲に値する人生をおくることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ペギー・ティーギュ
テキサス州 アビリン

3月24日 (日)

イエス様はここにおられます！

聖書朗読 マルコ 7:24~37

隠れていることはできなかった。

マルコ 7:24

イエス様が訪ねられた先々で、その存在を秘密にしておくことが不可能であったことに気がつきましたか？ イエス様御自身が秘密にされようとした時でさえ、やはり不可能でした。群衆に追われていたイエス様は度々、その恵みと癒しを受けた者に「私に会ったことは誰にも言わないように」と指示を与えていました。今日の聖書朗読箇所で、マルコはイエス様が『家にはいられたとき、だれにも知られたくないと思われたが、隠れていることはできなかった』ことを記しています。

あなたの周りの人で、イエス様との霊的な関係がその人の言動全てから伺える人物を考えてみてください。イエス様の存在は隠せていないはずです。イエス様の弟子たちは、「イエス様と共にいた者たちであった」ためにその存在をまぎれもなく知られることになったのです。

私たちの態度や、家庭や職場（または遊びの場面）での私たちの他者との関係を通じて、弟子としての私たちの人生はイエス様の存在を示すものでなければなりません。『私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。』（使徒 17:28）。

キリストがわたしの内に生きているとの
驚くべき思いにとらわれるとき、
わたしの心はいつかわたしもキリストのようになりたい
という願いで満たされる。

讃美歌 121

祈 り 御在天の御父様。御子の御臨在の内に生き、愛と思いやりとをもって世に
イエス様を示すことができるよう助けてください。

イエス様の尊い御名を通して。アーメン。

ブルース・エヴァンス
テキサス州 アビリン